

衆議院内閣委員会ニュース

【第203回国会】令和2年11月13日（金）、第3回の委員会が開かれました。

- 1 内閣の重要政策に関する件、公務員の制度及び給与並びに行政機構に関する件、栄典及び公式制度に関する件、男女共同参画社会の形成の促進に関する件、国民生活の安定及び向上に関する件及び警察に関する件
- ・加藤国務大臣、小此木国務大臣、河野国務大臣、坂本国務大臣、西村国務大臣、平井国務大臣、岩井内閣府副大臣、こやり厚生労働大臣政務官、近藤内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行いました。
- （質疑者）吉田統彦君（立民）、藤原崇君（自民）、早稲田夕季君（立民）、足立康史君（維新）

（質疑者及び主な質疑事項）

吉田統彦君（立民）

- (1) 鹿児島県西之表市の馬毛島の土地買収に係る政府と地権者との合意
- ア 2018年10月から12月にかけて、加藤国務大臣がリッチハーベスト社と面談をした事実の有無
 - イ 上記面談の際に馬毛島の土地買収の話をしたかの確認
 - ウ 馬毛島の土地売買に関し、加藤国務大臣が防衛省に口利きをした事実の有無
 - エ 加藤国務大臣がリッチハーベスト社又は同社関係者から献金を受けた事実又はパーティー券を購入してもらった事実の有無
- (2) 日本学術会議会員候補者の会員任命拒否問題
- ア 会員構成が一部の大学に偏ることが問題である理由
 - イ 任命拒否は大学の偏りではなく思想の偏りによるものであるとの指摘に対する加藤国務大臣の見解
 - ウ 任命拒否は政治や軍事が学問に強制的に関与したことへの反省に立つという歴史に逆行する形になるとの指摘に対する加藤国務大臣の見解
 - エ 我が国の過去に対する反省を踏まえた、学問と政治及び学問と軍事の関わり方についての加藤国務大臣の見解
 - オ 政治や軍部が学問に強く関わることにより学問の方向性が悪い方にゆがめられることがあってはならないとの指摘に対する加藤国務大臣の認識
- (3) 抜本的な景気対策として消費減税を検討する意向の有無
- (4) 政務三役について、給与の半分程度及び賞与の全額を返納することとする意向の有無
- (5) 郵便事故により特別定額給付金が不支給となっている者について、二次的な申立て等を可能にする必要性
- (6) G o T o トラベル事業の利用者に対し、抗原検査等を義務付ける必要性
- (7) 現在政府において検討されている不妊治療の保険適用
- ア 体外受精及び男性不妊治療が保険適用の範囲に含まれるかの確認
 - イ 代理母出産について、その全部又は一部が保険適用の範囲に含まれるかの確認

藤原崇君（自民）

- (1) 法務省の行政手続のオンライン化
- ア 国税、地方税、年金及び雇用保険に係る手続については令和2年1月からオンライン・ワンストップ化が実施されているにもかかわらず、法人設立登記における印鑑届出の任意化が令和3年2月実施と遅れている理由
 - イ 法務省の行政手続のシステム改修を迅速に行うための予算を計上する必要性

(2) 公証人による法人の定款認証制度

- ア 法人の定款認証以外の公証人の公証事務にもオンラインを活用する必要性
- イ 公証人の定款認証における面前確認によって不正行為を防止できた事例の有無
- ウ 定款認証手続の大幅簡素化及び1件当たり一律5万円の手数料の引下げを行う必要性
- エ 定款認証制度の改革の必要性に関する河野国務大臣の見解

早稲田夕季君（立民）

(1) IRにおけるカジノ問題

- ア 横浜市におけるカジノの是非に係る住民投票を求める署名活動に対する岩井内閣府副大臣の見解
- イ 同署名活動に対する小此木国務大臣の見解
- ウ カジノ管理委員会の職員を新型コロナウイルス感染症対策本部に異動させ、新型コロナウイルスの収束及び経済の回復のために一丸となって取り組む必要性

(2) 公文書における押印の廃止

- ア 押印の廃止に関する河野国務大臣のツイッターの投稿に対する印章業従事者の受け止め方及び同投稿による影響
- イ 行政改革に際して、関連事業の従事者へ最大限の配慮をする必要性

(3) 児童手当の特例給付

- ア 特例給付の廃止を内容とする法案を令和3年の常会へ提出する予定の有無
- イ 特例給付の廃止に関する政府における議論の有無
- ウ 決定していない特例給付の廃止を報じた新聞記事の真偽に対する坂本国務大臣の見解

(4) 新型コロナウイルス感染症対策

- ア 感染が拡大した場合にG o T oトラベル事業を一旦中止する必要性
- イ インフルエンザウイルスと新型コロナウイルスの同時流行に備えた体制整備
- ウ 新型インフルエンザ等対策特別措置法を改正して医療物資の確保を図る必要性

足立康史君（維新）

(1) 殉職した自衛隊員に対する国としての追悼の在り方についての加藤国務大臣の所感

(2) 日本学術会議会員候補者の会員任命拒否問題

- ア 日本学術会議法第7条第2項の「基づいて」について、民主的統制の観点から推薦された会員の任命を拒否できるとする政府の解釈の確認
- イ 昭和58年の日本学術会議法の改正時においても、政府が推薦された会員の任命を拒否できると解釈していたかの確認
- ウ 昭和44年に行われた国立大学学長の任命に関する高辻元内閣法制局長官の国会答弁の考え方を日本学術会議に係る議論にも適用できるとする根拠
- エ 昭和58年の日本学術会議法の改正時における中曽根元内閣総理大臣や丹羽元国務大臣の答弁が従来の政府見解と比べて踏み込み過ぎであるとの考えに対する加藤国務大臣の見解
- オ 会員の任命を拒否できる場合の判断基準
- カ 大学の自治が求められる国立大学学長の任命と国の行政機関である日本学術会議の会員の任命を比較して、後者の方が裁量の余地が広いとの考えに対する内閣法制局長官の見解

(3) マイナンバーの銀行口座への紐付け

- ア 全ての銀行口座をマイナンバーと紐付けることを義務付ける政府の意向の有無
- イ マイナンバーを将来的に経済社会の中でフル活用していくことへの平井国務大臣の意気込み

(4) 新型コロナウイルス感染症対策

- ア 休業要請と休業補償を盛り込む新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正を行う必要性

イ 空港での水際対策について、全ての入国者に対して検査を行い、陽性者に対してのみ適切なフォローを行う必要性

2 公務員の制度及び給与並びに行政機構に関する件（人事院勧告）

- ・河野国務大臣、一宮人事院総裁及び政府参考人に対し質疑を行いました。
（質疑者）森山浩行君（立民）、森田俊和君（立民）、塩川鉄也君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

森山浩行君（立民）

国家公務員のパワー・ハラスメント

- ア 国家公務員の精神及び行動障害による長期病休者数及び割合
- イ 長期病休者となった原因についての分析の有無
- ウ 人事院規則 10-16（パワー・ハラスメントの防止等）を制定した理由
- エ 長期病休者の中でパワー・ハラスメントが原因となっている人の割合
- オ パワー・ハラスメント防止に関する実効性の確保の方法
- カ パワー・ハラスメントの線引きについての各省からの相談に対する人事院の回答
- キ 人事院規則 10-16 の制定が部下に対する指導を萎縮させてしまう可能性
- ク 職場におけるパワー・ハラスメント防止のための啓発その他の人事院の取組
- ケ 相談に対して適切に対応するための各省庁及び人事院の体制
- コ パワー・ハラスメントを受けた場合を想定した対処方法の事例の共有の有無
- サ パワー・ハラスメントを根本的に解決するための方策について人事院の見解
- シ 国家公務員がパワー・ハラスメントを受けた際の体制が苦情相談であることについて人事院の考え方
- ス 森友学園事件における公文書改ざんの指示がパワー・ハラスメントに該当するかについての確認
- セ 一般論として犯罪行為の指示がパワー・ハラスメントに該当するかの確認
- ソ ハラスメントのない勤務環境を整備することについて河野国務大臣の決意

森田俊和君（立民）

（1） 国家公務員の長時間労働に関する実態調査

- ア 調査を命じた背景及び意図についての河野国務大臣の見解
- イ これまでの勤務実態に関する把握状況
- ウ 全職員の在庁時間について把握していないことの確認
- エ 人事院規則が規定する超過勤務命令の上限時間を超えた勤務に関する各省庁からの報告状況
- オ エの報告が人事院規則上の報告期限より遅れている現状についての一宮人事院総裁の見解

（2） コロナ禍における国家公務員のテレワーク

- ア テレワークに関する人事院及び内閣人事局の把握状況
- イ テレワークにおけるメンタルヘルス等労働環境に関する問題への対応についての一宮人事院総裁の見解

塩川鉄也君（共産）

ハローワークの非常勤職員の常勤化

- ア 専門的・恒常的な仕事であれば、常勤職員を充てるのが当然であるという考えに対する一宮人事

院総裁の見解

イ 専門的・恒常的業務であるハローワークの相談員の仕事は、必要不可欠な仕事であるとの考えに対する政府の見解

ウ 常勤職員の削減をやめて非常勤職員の常勤化を図る必要性

エ 恒常的な仕事に見合う定員が措置されていない定員合理化計画を撤回すべきとの考えに対する河野国務大臣の見解

- | |
|--|
| <p>3 一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律案（内閣提出第5号）
特別職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第6号）
・河野国務大臣から趣旨の説明を聴取しました。</p> |
|--|